



●本社 八女市立花町上辺春 476 番地

- 代表者 代表取締役 近藤 宏章
- 設立 2009年11月3日
- 資本金 2,600万円
- 従業員 6名（臨時社員等を含める）
- 電話 0943-24-9027
- FAX 0943-24-9028
- e-mail bamboo-techno@oregano.ocn.jp
- 連絡担当者 研究員 安岡 文博

竹を中心とする天然資源を用い新産業を創生

【事業概要】

弊社は、竹資源の活用と新産業の創出を目的とし、福岡県八女市と九州工業大学の支援のもと設立された「八女バンブーバレー実証研究センター」内に設置しました。

現在は、九州工業大学より技術支援を受けた「過熱水蒸気処理竹粉」の製造および、「過熱水蒸気処理竹粉」を用いた新製品の研究開発を主な事業とし、全国に流通する製品の開発を目指しています。

【製品・サービス内容】

■過熱水蒸気処理竹粉

国内有数の未利用再生可能資源である“竹”を、九州工業大学より開発された「過熱水蒸気処理技術」を用い、大量消費が期待できるプラスチックとの熔融成形に適した竹微粉末の製造・販売を行っています。

本製品を用いた竹粉・プラスチック複合材は、バイオマス材の使用によるCO₂の削減だけでなく、機械的特性の向上、帯電防止効果の付与、寸法安定性の向上、などの効果が期待出来ます。

過熱水蒸気処理竹粉を用いたプラスチック成形体は、福岡県八女市内の公共施設を中心に利用されています。

■竹蒸気抽出液（竹酢液）

「過熱水蒸気処理竹粉」の製造時に発生する、有機酸を含んだ水蒸気を回収した「竹蒸気抽出液（竹酢液）」の

製造・販売を行っています。

今年度より弊社の販売する竹蒸気抽出液（竹酢液）は、全てにおいて化学分析を行い、発がん性物質を含まない安全な竹蒸気抽出液（竹酢液）である事を確認した後、その化学分析結果と共に出荷します。

■生分解性プラスチック「ポリ乳酸」

生分解性プラスチックである「ポリ乳酸」を用いた製品として、高速道路等の高架橋建設の手法の一つである、合成床版工法の点検孔に使用する「バイオモニタリングキャップ」を製造販売しています。

■竹チップなどの竹加工品の製造販売

主に、弊社所在地である八女市立花町より回収した竹を用い、竹チップや農業用竹資材の製造販売を行っています。

■八女バンブーバレー実証研究センターの管理運営

八女バンブーバレー実証研究センターは、八女市、九州工業大学、企業が連携して、竹産業の技術・情報・人材を集積して、竹関連産業の拠点を作ろうと計画された「八女バンブーバレー構想」の拠点となる施設で、弊社はこの施設管理・運営を行っています。

センターでは、分析装置を用いた化学分析を行っており、弊社の過熱水蒸気処理竹粉および竹蒸気抽出液（竹酢液）の化学分析結果は、このセンター設備を利用しています。



過熱水蒸気処理竹粉を使用したプラスチック複合材製品例



八女バンブーバレー実証研究センター 所有分析装置